

北町西小 ことばの教室

令和8年度 第4号 学級通信
練馬区立北町西小学校
特別支援学級（言語障害通級指導学級）
TEL/FAX 3 9 3 2 - 7 6 3 1 教室直通



今年も暑い日が続きましたね。みなさん、夏休みはどのように過ごされたのでしょうか。旅行に行った、セミやカブトムシなどの虫をとった、スイカを食べた、花火をした、毎日公園で遊んだなど、様々な体験ができたことでしょう。子供たちから夏の思い出を聞くのが楽しみです。

さて、いよいよ2学期が始まります。ことばの教室では、11月に学習展示会を行います。毎週の通級の中で、作品の制作にも少しずつ取り組んでいきます。どのような作品が並ぶのか、今から楽しみです。

まだまだ残暑が続きますので、引き続き、体調管理にお気を付けてください。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

行事予定

9月

- 1日（火）都難言協 江北ブロック研究会（午後）
- 2日（水）2学期通級指導開始
- 8日（火）都難言協 専門研究会（午後）
- 12日（土）言語運営研究会（午前）
- 14日（月）～18日（金）避難訓練週間
- 21日（月）敬老の日
- 22日（火）国民の休日
- 23日（水）秋分の日
- 28日（月）小中合同研修会（午後指導なし）
- 29日（火）保護者講演会 14時00分～15時30分



10月

- 1日（木）都民の日（全日指導なし）
- 6日（火）都難言協 江北ブロック研究会（午後）
- 9日（金）北町西小運動会準備（午後指導なし）
- 10日（土）北町西小運動会
- 12日（月）スポーツの日
- 13日（火）北町西小振替休日（全日指導なし）・都難言協専門研究会（午後）
- 15日（木）言語運営研究会・区入級検討会（午前指導なし）
- 28日（水）第3回吃音グループ活動 15時～（対象児童のみ）
- 30日（金）北町西小就学時健康診断（午後指導なし）



9月は51名で通級スタートです！

7月13日（月）に練馬区の入級検討会がありました。入級検討会では、練馬区のことばの教室の教員と教育委員会、専門家が集まり、新しく入退級する児童の判定を行います。今回は、4名の入級と3名の退級が決まりました。9月からは合計51名の児童が通級することになります！よろしくお願いいたします！





保育士参観(区主催の見学会)を行いました！

7月2日(木)に区立保育園の先生方が4名来校し、ことばの教室の授業参観や情報交換を行いました。保育園の先生から質問を多数いただいたり、ことばの教室の担当者の思いを話したりして、充実した時間になりました。今後お互いに連携を深めながら、園児や保護者の方が就学後に適切な支援を受けられるよう環境を整えていきたいと思っています。



吃音グループ活動を行いました！

7月8日(水)に第2回吃音グループ活動を行いました。12名の児童が参加し、ゲームリーダーが考えた『かごのとりゲーム』を楽しんだり、自分のことをクイズにした『クイズ！わたしはだれでしょう??』に挑戦したりと、たくさん盛り上がりました。クイズを通して自分と他の児童の吃音を比較し、人によって吃音の出方や考え方が違うことを知り、「吃音って奥深いね。」とつぶやく子もいました。保護者の方々は別室にて懇談会にご参加いただきました。吃音の絵本の制作に携わられている保護者の方のお話をうかがったり、少人数のグループに分かれて事前アンケートで挙げたテーマについて懇談をしたりしました。仲間が集まるグループの場は、年に4回しかありません。子供たちにとって楽しく安心して過ごせる場になるように、そして、思いを伝え合い吃音への考えを深めるきっかけになるように、グループ活動を計画、運営していきます。参加してくださったみなさま、ありがとうございました。



在籍学級担任の先生方へ【指導報告書の送付について】

ことばの教室では、指導内容についての報告書を作成しています。4月～9月を前期、10月～3月を後期として10月上旬と3月中旬の年2回、在籍校に指導報告書を送付します。指導要録に準じた扱いとなりますので、保管にご配慮いただくよう、お願いいたします。ご一読いただき、指導に関するご質問などございましたらご連絡いただければと思います。



『ボロボロの部屋』と『ビリビリの窓』

長期休みに祖父母の家に遊びに行った時のことを話してくれた児童がいました。

「おじいちゃんの家ね、ボロボロの部屋だったの。」また、別の児童も祖父母の家に行ったと教えてくれ「おばあちゃんの家にはビリビリの窓があるんだよ。」と話していました。この2人の話に出てきた『ボロボロの部屋』と『ビリビリの窓』は何でしょう？実は『和室』と『障子』のことです。日常で見る機会も少なく、名前が分からないため『ボロボロ』や『ビリビリ』という表現で伝えようとしていたのでしょうね。最近は、子供たちにとって見たこともないし、名前も知らない、という物が増えているように思います。ある専門家は、現代ではICTを使って調べたり読み書きの補助をしてもらったりと便利な物が増えた一方で、実際に見る・触る・人と会話するという機会が少なくなっているのではないかと言っています。言語力は、経験したことに言葉をプラスすることで形成されていくのだそうです。一緒に遊ぶ、一緒に作る、お手伝いをする、日常での様々な会話などを通して、子供の知識や思考は広がっていきます。吸収力の高い子供の内にたくさんの経験をしてほしいと思います。

ことばの教室でも“経験と言葉”を大切にしていきます。

文責 佐藤

